

**「Society 5.0実現ビジネス3原則」  
による新たな価値の創造  
～「知的財産戦略ビジョン」策定に向けて～**

2018年5月15日

一般社団法人 日本経済団体連合会

I. はじめに	.....	2
II. 基本的な考え方	.....	3
III. 【原則1】「ビジネスモデル」を創る	.....	4
IV. 【原則2】「知」を創る	.....	5
V. 【原則3】「ルール」を創る	.....	6
VI. おわりに	.....	7

## 経団連は「Society 5.0 for SDGs」を推進

- わが国はデータ活用ビジネスに立ち遅れ
- 先端技術+データで競争力を取り戻す必要

- 技術革新により競争力強化と社会課題解決を目指すSociety 5.0は、SDGsと符合

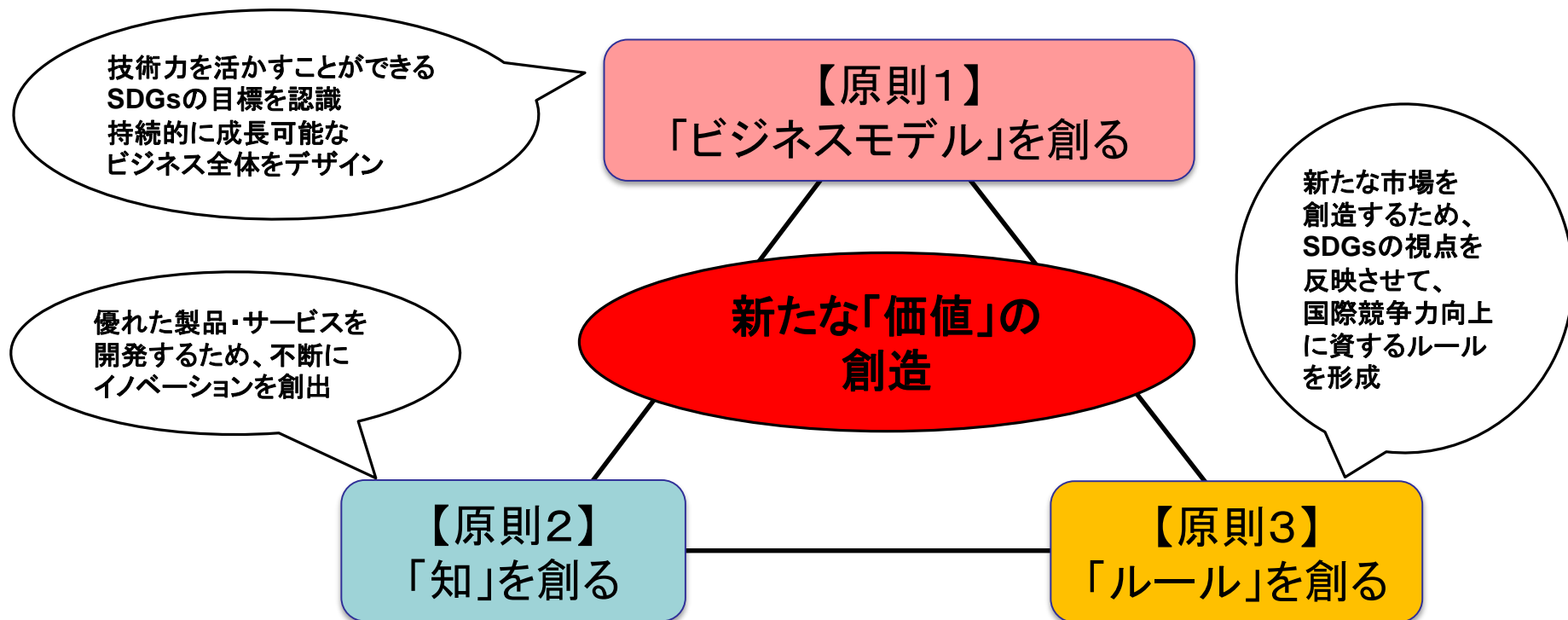
## ビジネスをSDGsの目標と結びつけて戦略的に構想することが必要

- SDGsの考え方が国際的に普及すると、
- SDGsを根拠として国際的なルールが形成
  - SDGsが投資の根拠のひとつになる可能性
  - 展開する製品やサービスの価値をSDGsに関連づけて説明することも必要に

- 日本企業は、SDGsを意識して、
- ビジネスモデルの構想
  - 競争力の高い製品やサービスの設計
  - 国際的なルール形成などを行うことが必要に

Society 5.0実現のため、ルール形成・ビジネスモデル構築を含めた「広義」の知財戦略を構築する必要性を提言

## Society 5.0実現ビジネス3原則



## オープンイノベーション&グローバルイノベーション

- 企業(同業種・異業種)、大学・研究開発法人、ベンチャー企業、外国企業を含めた「オープンイノベーション」の開かれた仕組みの構築が必要
- 企業の事業活動の「グローバルイノベーション」を一層加速させるため、知財制度の国際的調和や、グローバル視点での知財・ルール形成戦略が重要

## 企業の取り組み

### 革新的なビジネスモデルの構築

- 競争優位をSDGsの目標達成にいかにつなげるかを構想
- データや技術力を活かし、ルール形成までを包含した革新的なビジネスモデルを構築

### 外部人材の活用

- データを活用して社会課題を解決するビジネスは新たな挑戦
- 外部の人材や資源(ベンチャー企業や外国人材を含む)を積極活用

### プラットフォーム構築

- ビジネスに有効なデータを蓄積したプラットフォームを構築
- 他社との連携による協調領域の拡大やM&Aの必要性も十分に検討

## 政策への期待

### 規制改革の推進

- 旧来の規制を新たなビジネスに無理に適用することで、企業の新たな挑戦を削ぐべきではない
- 新ビジネスの創出を後押しする新たな規制・制度の整備も必要

### 迅速な権利化・標準化の支援

- 事業化の前提となる権利化や標準化が遅れば、ビジネスが成立しない
- 特許審査にAI等の先端技術を活用し、さらに迅速な権利化を実現

### ビジネスモデルの構築及び担い手の支援

- 一元的なビジネス相談窓口の設置
- 国内での人材育成支援と、成功体験を有する外国人材の招聘

## 企業の取り組み

### 知財の戦略的活用

- オープンイノベーションに資するように、知財を「活用」し合う
- 知財の戦略的に活用して、SDGsにも貢献
- 創造的発明を促す「相当の利益」のあり方を検討

### データ活用の促進

- 先端技術とビッグデータを結びつけ、持続可能なビジネスを創出
- ライセンスにブロックチェーン技術を活用して、適切に権利関係を管理

### 知財の確実な保護・秘匿

- オープンイノベーション時代に対応した徹底した知財管理の実施

## 政策への期待

### 「活用型」の知財の仕組みの構築

- 標準必須特許の課題解決に向け、特許庁が国際的な議論をリード
- ライセンス・オブ・ライトの導入による特許の有効活用
- 現在の著作権制度に加え、著作権等の一部を制限できる仕組みを検討

### データの戦略的活用促進

- データに独占排他的な知財権を設定せず、契約高度化による対応を

### 知財制度の国際的調和の促進

- 世界共通特許制度の国際的な議論に対応すべく、国内的な議論を深化
- 世界レベルで営業秘密保護水準の統一

## 企業の取り組み

### SDGsの目標達成に資するルール創り

- SDGsを国際競争力確保の切り札と捉え、企業自らがルール形成に積極的に関与

### 外国人材の招聘

- 短期的にはエキスパート人材を、外国から受け入れることが必要  
人事制度改革等の環境整備が必須

### 規制を変える・作る

- SDGsを根拠とし、国際競争力確保に資する規制を新設・緩和・撤廃

### 標準を作る・特許を開放する

- オープン&クローズ戦略を意識し、戦略的な標準の獲得・特許の開放

### ソフトパワーをビジネスに活かす

## 政策への期待

### 国際的なルール形成支援

- 進出先政府との窓口機能等を期待

### 戦略的な国際標準化の推進

- 標準化の戦略的領域の策定、省庁の連携強化、標準化活動の支援

### 認証機関の機能強化

- 企業のグローバル展開のサポーターに

### 高度外国人材の積極的な受入れ

- 生活環境の整備、留学生の就職支援強化等を期待

### ソフトパワーを活用したルール形成戦略

- クールジャパン戦略に止まらず、日本のよさ(ソフトパワー)を、ルール形成やインフラ輸出等に活用

## Society 5.0の実現に向けて

- ◆ SDGsが全世界的な目標として定着する方向。
- ◆ SDGsがビジネスに大きな影響を及ぼす段階になって「何もやっていなかった」「海外勢が有利なルールを形成し、わが国企業の国際競争力を削ぐ結果となった」では、「時、既に遅し」。
- ◆ 企業は、イノベーションを通じて革新的な製品・サービスを生むことのみならず、それらの製品・サービスがSDGsの文脈で正当に評価されるよう自ら主導権を握ってルール形成を行うことで、地球規模の社会課題解決と自らの成長の両立を図ることが重要。その積み重ねが、Society 5.0に結実。
- ◆ 今後、わが国企業のビジネスの強みをSDGsとの関係で整理し、ルール形成をいかに行うべきか、検討を深める。